

報道機関各位

令和6年能登半島地震における水道応急復旧隊（第1陣）活動報告

応急復旧隊（第1陣）が9日間の派遣を終え帰北したため、現地での活動の様子を報告します。

今回の派遣は市職員に加え、応急復旧に必要な機材や技術を持つ市内水道工事事業者とともに現地へ赴き、北九州市からの被災地支援としては初めて、官民合同で応急復旧作業にあたりました。

1. 活動の概要

◆派遣先 石川県輪島市

◆派遣職員 上下水道局職員 3名

市内水道工事事業者 5名

※北九州管工事協同組合を通じて依頼

◆期間 令和6年2月22日（木）～3月1日（金）

◆活動内容

輪島市中心部エリアにおいて、

（1）被災して水が出ない水道管のバルブ操作を行い管内へ充水する。

（2）漏水探知機等を用いて漏水調査を実施し漏水箇所を特定。

（3）水道工事事業者が漏水箇所の修繕を実施。

（1）～（3）の作業を場所を変えながら実施し、水道管の復旧作業を行った。

※活動の様子は別紙参照

（写真データの提供が可能です。ご希望の際はお問い合わせください。）

2. 活動実績

◆漏水調査延長 約2 km

◆修繕箇所数 7箇所（配水管：1箇所、給水管：6箇所）

3. 今後の対応

引き続き、断水の解消に向けて水道の応急復旧の支援を行っていく。

4. 参考

○応急給水活動の実績

・派遣期間：令和6年1月6日～2月21日〔47日間〕

※以降の活動は、福岡県内他事業体に引継ぎ

・派遣先：石川県能登町

・派遣職員：第1陣～第9陣 のべ58名

・活動実績：のべ9, 341世帯に給水

〈問い合わせ先〉

上下水道局配水管理課

徳永（課長）、塚本（係長）

TEL：093-582-3066

応急復旧隊の現地活動状況

別紙



①作業エリアの決定
本部(東京都水道局)と協議で決定



②水が出ない水道管の充水
バルブを操作することで管内に充水
※漏水箇所の調査が可能



③漏水調査の状況
漏水音を確認する器具(音聴棒)を直接
水道管に当てて漏水調査



④漏水調査の状況
漏水音を確認する専用機器(漏水探知機)で
道路上から漏水調査(漏水箇所の特定)



⑤修繕状況
漏水している給水管の部分取替



修繕状況(仮管設置)
水路下等で漏水修理に時間を要する場合は、早急に水を通すため、道路に仮管を設置(本復旧後は撤去)